

# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

～支え合いのある地域づくり～

令和2年10月1日

第1号

## 住み続けたい地域づくりフォーラム開催



令和元年度第1回協議体会議から協議体の周知も併せ、協議体と生活支援コーディネーターが協働で「支え合い・助け合い」を広く発信していくことを目的に、住み続けたい地域づくりについて、令和2年1月18日、岬町社会福祉協議会におきまして、岬町生活支援・介護予防サービス協議体、岬町、岬町社会福祉協議会の共催による「住み続けたい地域づくりフォーラム」を開催しました。地域住民やボランティア活動者など約70名が参加し、さわやか福祉財団 目崎智恵子氏を講師に迎え、共生社会の実現に向けて改めて支え合いの必要性や専門職と地域の関わり方、有償活動など先進事例の紹介を通して講義をいただきました。また、第1層協議体副委員長の竹本靖典氏からは、自作の落語を取入れた支え合いの必要性が訴えられ、理解も深まりました。地域づくりフォーラムについてのアンケート結果からは、支え合い活動についての興味・関心の高さが伺え、「フォーラムの内容を身近な地域で開催したい、教人でも気軽に話ができる機会を作りたい」と思われますか」との問いに、「是非、開催したい」「機会があれば開催したい」との回答が全体の62%を占める

など、身近な地域で気軽に話ができる機会が必要であることがわかりました。

今後、話し合いの場を作りたいとの希望や相談がある場合は、協議体メンバーとともに各地域・地区に出向き開催できるよう努めます。

また、有償活動についてのアンケート結果からも、「有償活動に参加したい、有償活動をテーマにした講座・勉強会等に参加したいですか」との問いに、回答者の約73%の方から「是非、参加したい」、「機会があれば参加したい」と多くの回答をいただき、積極的な姿勢が見られました。今後は、このフォーラムで支え合いに関心を示していたいた方を中心に講座・勉強会を実施し、住民の方が主体的に取り組めるよう、継続可能な有償ボランティアの組織化に向け、多様な主体間の情報提供及び連携等を図り資源開発に取り組みます。





# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体から始まった 地域支え合い活動スタート！！

淡輪10区・11区安全・安心な地域に「どないしたらええん会」 令和2年7月末現在 会員数29名

平成30年5月「どないしたらええん会」を設立⇒ 平成31年4月組織化

買い物移動支援

淡輪 10・11 区 高齢者等の方へ  
お買い物のお手伝いをします  
つれってって会員募集

お買い物に  
つれってって

予約は電話/  
494-1508  
(月曜日～金曜日  
9:00～12:00)

主催：安全・安心な地域に  
「どないしたらええん会」  
会長 竹原善七

①会員になる  
会員証 有効期間1年間  
1,200円(1人)

②利用券を買う  
利用券 6枚綴り500円  
(枚数で2枚使用)

③予約をする  
月～金曜日までに予約すると  
次週の月曜日に運行します

④買い物に行く  
第1・3・5月曜日…岬オークワ  
第2月曜日…エバーグリーン  
第4月曜日…トライアル  
午前9時頃～お昼頃まで

買い物にくと楽しいね！  
E-Shop MARKET

高齢者等地域住民の交流や居場所



地域を知るBAR



「ええん会」会議：1回/月



独居高齢者等の安否確認のシステム



令和元年8月 Facebook 開始  
「どないしたらええん会」

淡輪6区「わくわく会」 令和2年7月末現在 会員数12名

平成30年11月「わくわく会」を設立⇒ 平成31年1月組織化

地域の安全・高齢者の安否確認「みまわり隊」



「わくわく会」会議：1回/月



喫茶わくわく（コミュニティカフェ）





# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

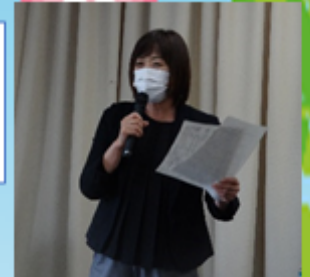
～支え合いのある地域づくり～

令和3年3月1日

第 2 号

## ～令和2年度第1回生活支援・介護予防サービス協議体会議～

令和2年10月23日に令和2年度 第1回岬町生活支援・介護予防サービス協議体会議を開催しました。講師には、1月に開催した「住み続けたい地域づくりフォーラム」にもご協力いただいた、さわやか福祉財団の目崎智恵子氏を迎えました。



さわやか福祉財団  
目崎 智恵子 氏

協議体は、地域で活動する団体と専門職が会い、地域の困りごとや活動内容を話し合う場です。協議体会議を開催することで、地域の困りごと等の情報を共有して、構成員全員で課題解決の方法を考えます。岬町では、平成28年7月に設置されました。現在、21名の構成員で活動しています。

### 今回の会議で報告・協議した内容

#### 淡輪6区「わくわく会」活動報告

地域で住民同士の助け合い・つながりづくり

【平成31年1月15日淡輪6区「わくわく会」組織化】

活動内容 ①ラジオ体操 ②みまわり隊 ③喫茶わくわく ④買物支援

#### 「住み続けたい地域づくりフォーラム」の振り返り

支え合い・助け合いの創出・発展のためにもっと身近な地域で気軽に話し合える機会が必要であることやちょっとした困りごと等、公的な福祉サービスではカバーできない課題に対して、住民主体の有償活動を創出していくことで解決できるのではないかなど、住民同士の支え合いがますます必要になっていることを共有しました。



#### それぞれの立場から与えられたテーマについて様々な意見を出し合う

「地域でお互い様の支え合いをつくる」をテーマにグループワーク

##### テーマI 「地域の情報を共有するにはどうしたらよいか」

- ・自分の地域でどんな集まりがあるか、今ある集まりの場を活用する。
- ・困りごと箱を各居場所に設置する。 他

##### テーマII 「地域におけるそれぞれの役割の確認」～無理なく取り組めること～

- ・自主的な活動として、ラジオ体操がすぐに始められ会話、見守りにつながる。
- ・専門職員が地域の集まりに参加し顔の見える関係性を築く。
- ・地域によって課題が異なる⇒地区単位で解決していく。 他

まとめ（講師：目崎氏より）

「岬町生活支援・介護予防サービス協議体会議は、楽しくアイデアを出し合える場でできる事を考え、できるだけ地域に出向くことが大事である。地域の中で小さな居場所の話し合いからいろいろな活動へと広がり、また、新たな出会いと手をつなぐことで気付いてもらう。このことを定期的に継続的に行うことが必要である。介護予防等を推進し、元気な岬町でいましょう！！」といただきました。



# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体から始まった 地域支え合い活動スタート！！

深日地区第2層協議体レベル(小学校区単位)「友さんの会」令和3年1月末現在 会員数10名

令和元年8月「友さんの会」を設立

深日地区全域マップ作成

「友さんの会」会議：1回/月



空き地・空き家、居場所、高齢者(80歳以上)、災害時避難所等の把握

深日地区第3層協議体レベル(自治区単位)中出・千歳・陸出自治区活動

## 純喫茶「友」

おにぎりを食べたり、コーヒーを飲みながらおしゃべりする場所を始めました

実施日時：11月4日(水)  
午前10時～12時

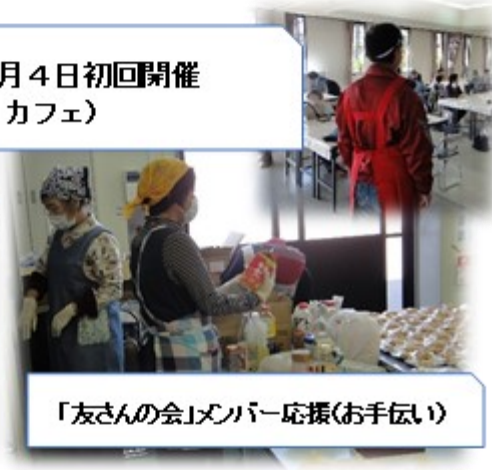
(オーダー・ストップ 11時30分)

場 所：深日会館  
対 象：どなたでも  
(どの地区の方でもOK)

### メニュー

100円	限定30個 200円
飲み物 コーヒー ジュース ちよこっとお菓子	おにぎり 味噌汁 コーヒー・ジュース

「純喫茶 友」11月4日初回開催  
(コミュニティカフェ)



「友さんの会」メンバー応援(お手伝い)

第3層協議体レベル(自治区単位)淡輪6区新興住宅側「グリーンピース」令和3年1月末現在 会員数8名

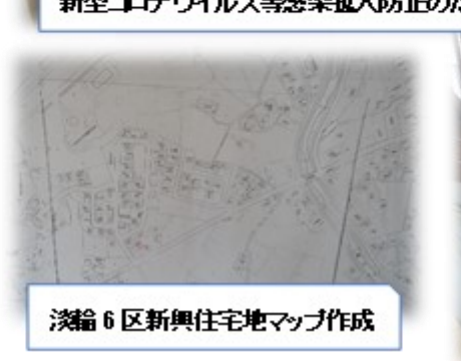
令和2年2月「グリーンピース」を設立

「グリーンピース」役員会：1回/月

くつろぎ喫茶：第3金曜日/月1回  
(コミュニティカフェ)



新型コロナウイルス等感染拡大防止のため「新しい生活様式」に基づき開催した様子



淡輪6区新興住宅地マップ作成





# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

～支え合いのある地域づくり～

令和3年11月1日

第 3 号

## ～令和2年度第2回生活支援・介護予防サービス協議体会議～ コロナ禍でも新たな発想・工夫のもとに取り組む活動について

協議体は、地域で活動する団体と専門職が出会い、地域の困りごとや活動内容を話し合う場です。協議体会議を開催することで、地域の困りごと等の情報を共有して、構成員全員で課題解決の方法を考えます。岬町では、平成28年7月に設置されました。現在、21名の構成員で活動しています。

令和3年3月12日に令和2年度 **第2回岬町生活支援・介護予防サービス協議体会議**において、講師としてさわやか福祉財団の目崎智恵子氏を迎え、コロナ禍でも新たな発想・工夫のもと取り組める活動等について意見交換等を行いました。



コロナ禍でもつながりを続けるために、私たちが何かできること！！

デイサービス施設では、コロナ禍、地域とのつながりについて、どう工夫して、もとの状態に戻していくかが大きな課題です。このような状況下において、認知症の方に地域とのつながりをたやさないためにも、施設職員が地域に出向き支え合いの具現化を目指します。また、心のよりどころとなるばぼろ炭輪デイサービスを目指します。



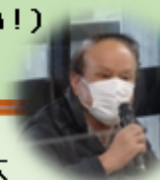
令和2年12月31日「歳末たすけあい」での見守り訪問活動を実施しました。その際にはマスク、フェイスシールド等コロナ対策を十分に行い軒一軒市販の惣菜等を配布しました。楽しく笑顔で喜んでいたのがやりがいがあった。



コロナ禍だからこそつながりの大切さがより強く感じられました。2人1組で見守り活動継続実施の強化、電話等での安否確認の実施を行いました。(地域の防犯パトロール) また、買い物支援の希望者がある限り継続的に実施し、今後、個人宅での小さな困りごとをワンコインで解決できるサービスの創出に向け話し合いをしています。



炭輪地区福祉委員会は、コロナ危機を地域福祉活動のジャンプアップの契機ととらえ5年先、10年先を見据えた方策を考え推進していきます。(絵にかいた餅にしない！)



岬町社協が策定したコロナウイルス等感染拡大防止対策の「地域福祉活動の留意ポイント」に沿い、地域の話合いの場「赤提灯 Part2」を令和2年10月に開催しました。コロナ禍でも無理なく取り組めることはないが、これまで培ってきた地域のつながりが途切れることなく、支え合いについて地域での話し合いを継続しています。固定概念にとらわれない、変化に対応できる地域に根ざした活動に取組み、感謝の言葉をお互いが言える活動にしたいです。



深日地区における高齢者を対象に、地域の課題の発見・解決を目指した「まちづくり」と、継続的発展のために、人材発掘と人材育成を目指した「仲間づくり」の活動に取組み、新しい支え合い、助け合いの社会の実現を目的として「友さんの会」を発足しました。緊急事態宣言が解除となった令和2年11月コロナ禍で、できるものは何かを模索し、感染対策をとりながら、新たな居場所づくりとしてカフェ純喫茶「友」を開業しました。



デイサービスセンターの利用者もコロナ禍で閉じこもり傾向にある方が増えました。在宅の看取りも多く、発熱している方への対応に苦労している中、事業所の取組みとして認知症カフェ「おにぎりサロン」・喫茶Sunデーに協力しています。認知症の方が外出できる楽しい居場所を早く再開させたいです。



※今後も協議体では、「顔の見える関係」「お互いを知る」「共有できる」構成団体のネットワーク強化を図ります。



# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体から始まった 地域支え合い活動スタート！！

第2層協議体レベル(小学校区) 多奈川地区福祉委員会主催「赤提灯Part2」開催 令和2年10月31日 参加者37名

～皆さんの暮らす多奈川地区がずっと安心して暮らせる地域であるために楽しみながら、  
みんなで考えませんか？～

地域の話合いの場開催  
「赤提灯Part2」  
場所：「港会館」



多奈川地区の良いところ、困っているところ  
や無理なく取り組めることを考える

岬町協議体 山口委員長  
内容説明

多奈川地区福祉委員会  
池中委員長あいさつ



来場者受付にて赤い羽根共同募金  
ハッチ募金にご協力頂きました



第3層協議体レベル(自治区単位) 淡輪2区・9区「淡輪Qちゃん会」 令和3年10月末現在 会員数11名

令和3年9月1日「淡輪Qちゃん会」を設立



淡輪6区「わくわく会」へ参加  
淡輪9区支え合い活動について

淡輪9区のマップから拠点探し！

拠点場所を探す地区と仲間づくり  
淡輪2区・9区合同  
地域の話合いの場開催

役員会：淡輪2区・9区合同  
令和3年8月～開始(1回/月)  
「淡輪Qちゃん会」  
場所：「岬町公民館」





# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

～支え合いのある地域づくり～

令和4年3月1日

第4号

## ～令和3年度第1回生活支援・介護予防サービス協議体会議～

協議体会議を開催することで、地域の困りごと等の情報を共有して、構成員全員で課題解決の方法を考えます。岬町では、平成28年7月に設置されました。令和3年11月より、20団体25名の構成員で活動しています。



令和3年11月11日に令和3年度第1回岬町生活支援・介護予防サービス協議体会議が開催されました。令和3年度におきましては、構成員の任期満了（2年間）に伴い改選が行われました。多様な主体間の情報共有及び更なる連携強化・協働による資源開発及び充実を目指します。

### 新しい構成員のご紹介



深日地区福祉委員会  
中村勲氏

自宅で沢山の本を置いて誰でも借りられる図書館を始めました。誰でも始められる図書館のネットワークから地域の図書館へ発展し、交流できればと思っています。



岬町商工会  
竹内邦博氏

商工会会会長を4月から就任し、初めて協議体会議に参加しました。商工会が支え合い活動にどのように関われるのか模索しているところです。



地域おこし協力隊  
根田淳弘氏

YouTube「みさきおこしチャンネル」を開設し、多奈川線への挑戦動画を撮り好評です。岬町の面白いことを探し、人の輪を広げていきたいです。

### 協議体の活動のこれまでに至った経緯、取組みについてディスカッション

さわやか福祉財団  
目崎氏



委員長  
山口氏

副委員長  
竹本氏

協議体委員長山口氏、副委員長竹本氏と講師：さわやか福祉財団目崎氏とによる、「助け合いのネットワーク」についてのディスカッションを行いました。講師からそれぞれに質問を投げかけ、「取組みきっかけは、何だったのか」「なぜ、住民主体で取組まなければならないのか」また、楽しみや苦労したことを経て、現在に至ったストーリー等を語っていただきました。山口氏より、「多奈川地区福祉委員会委員長を任されていた平成28年、住み慣れた多奈川地区の人口減少や高齢化による担い手不足、要介護（支援）認定者の増加に伴う介護保険料の増額等の社会問題から、地区の危機感や主体的な活動の必要性を感じ、支え合い、助け合いながら取組まなければならないと思いました。」と取組みきっかけ等についてお話しくださいました。また、竹本氏からは、5年後10年後の地域コミュニティ確立のため、あまり無理をせず、人のためだけでなく、自分のために楽しく参加でき、できることから取組むことで、また、新たな活動につながっていった体験談をお話しくださいました。



皆さんこんにちは、岬町協議体から派生した住民主体の取り組みを紹介します！

第1回協議体活動  
年2回の会議、構成員  
21名、一つのことを皆  
で創出するのは難しい！  
視点を変えよう！

SCが第1層協議体会議（年2回）・運営支援⇒構成員21名（19団体）

専門職と地域住民が垣根なく気軽に支援・連携・情報交換できる「出会いの場・顔の見える場・情報交換の場」をコンセプトに、全体の構成員で活動を行う。

◎会議の内容などを各所属組織に持ち帰って共有していく

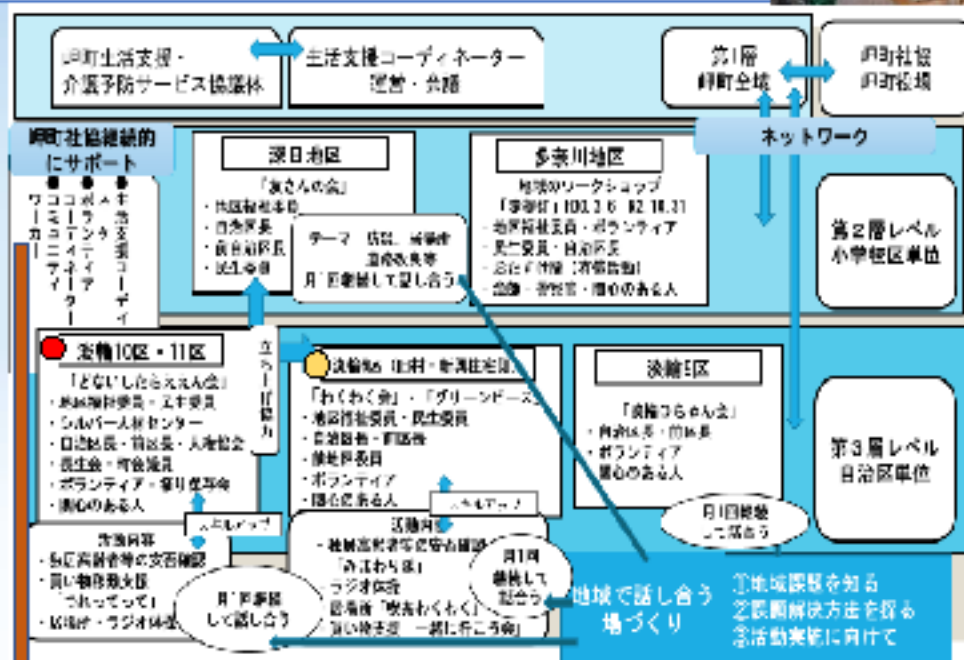
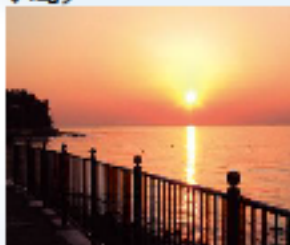
※さわやか福祉財団オブザーバー講師：目崎智恵子氏



岬町の現状(令和3年4月1日現在)

- ◆ 人口 15,165人
- ◆ 世帯数 7,459世帯
- ◆ 高齢化率 39%
- ◆ 大阪府の最南端

（東南部は全体の約80%が山地、西北部は自然海岸、平地部が少なく山間部に集落があり峠を越える手前には里山集落もある4町村が合併してできた交通便が悪い細長い町）



岬町社会福祉協議会（生活支援コーディネーター・ボランティアコーディネーター・コミュニティワーカー）が全力で住民主体の活動を立ち上げから継続的にバックアップ！

● 淡輪6区  
「わくわく会」

R3.4月現在会員数 14名



自分たちの健康増進に始めた運動が、自然とみんなのための活動になった

喫茶

わくわく

毎月15日/  
モーニングやってくる  
午後3時まで！

みんなの想いは同じ、  
「どないかせなあかん！！」

地域住民の自主性とお互いの連携と融和を図り  
よりよいコミュニティづくりを行い、住みよい  
まちづくりを目指す自治会

ラジオ体操、み  
まわり訪問活動  
から、みんなの  
声で始まった

● 淡輪10区・11区  
「どないしたらええん会」

R3.4月現在会員数 29名



地域を知るBAR開催

地域を知るBAR

みんなで地域のこ  
とを考えよう！  
自分たちで支え  
合っているこ  
とって何？

連携

買い物支援「つれってって」毎月曜日

買い物支援「一緒にいこう会」毎週木曜日

<制作：社会福祉法人 岬町社会福祉協議会>



# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

## ～支え合いのある地域づくり～

令和4年12月1日

第5号

### ～令和4年度第1回生活支援・介護予防サービス協議体会議～

令和4年8月4日に開催しました。令和4年度第1回岬町生活支援・介護予防サービス協議体会議では、さわやか福祉財団 目崎氏を講師にお招きし、協議体構成員19名が参加し、情報の共有や意見交換を行いました。

今回は、それぞれの地域の実情に合った医療、介護・予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制を目指して、専門職としての知識や経験を自分事に置き換え、住み慣れた地域で最後まで尊厳を持ってその人らしく生活できるよう、地域の助け合いや支え合いについて課題を共有し、地域住民と専門職が互いに協力し合い、支え合える仕組みについて考えました。

### パネルディスカッション

#### 【テーマ】

- ・専門職としても、個人の観点からも、どんな町なら最後まで自分らしく人生を送ることができますか？
- ・「いつまでも岬町は、〇〇であってほしい」と願う、〇〇とはなんですか？
- ・岬町で仕事をしているが、ご自身が今後年齢を重ねてきたときこの町は、どのようになっていけば良いですか？
- ・現在、地域課題に対して社会貢献を行っているまたは、社会貢献を考えている、専門職で取組んでいることはありますか？

協議体会議を開催することで、地域の困りごと等の情報を共有して、構成員全員で課題解決の方法を考えます。岬町では、平成28年7月に設置されました。令和4年11月現在、20団体23名の構成員で活動しています。

#### パネリスト



#### オオサコケアプランセンター 大浴 天也 氏

「ケアマネジャーとして、また、障がい、福祉を専門としている会社の代表として、いつまでも岬町は、住民に温かく、暮らしやすい町であってほしいと願っています。」と話をされ、また、一般市民が介護を受けるときに困らないような情報提供の必要性や認知症カフェ等への社会参加と課題、利用者が最後まで自宅で過ごせるような支援の必要性を話されました。

#### ぽぽろ淡輪デイサービス 児嶋 健太 氏

コロナ禍において、施設利用者を守ることや働き手不足の問題、事業所としてできることと、個人としてできることの区別の難しさを感じていることを話され、そのような状況の中でも、「淡輪小学校児童による、キューピークラブの活動は、デイサービスに来られている高齢者にとって、元気の源になっています。子どもとの垣根を超えた交流は、継続していきたいです。」と想いを話されました。

#### 岬町社協地域包括支援センター 亀崎 泰広 氏

「いつまでも健康で、仲間と活動を続けたい、認知症になっても、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で過ごしたい。そんな希望がかなえられたとき、『自分らしく生きる』の実現に近づくのだろう」と話されました。また、社協が進めているいきいきサロンでのプログラム「みさきサロン介護予防運動教室」や包括、社協、栄養士、理学療法士、作業療法士が取り組んでいる短期集中介護予防教室「みさきげんきUPクラブ」等住民に寄り添い、生活機能の向上や自己実現のための取組みを展開していることなどを話されました。





# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体活動

## ～令和4年度地域支援団体ネットワーク会議～



令和4年11月4日(金)に岬町文化センターにおきまして、協議体が関わり組織化した住民主体団体のネットワーク会議を開催しました。本会議では、平成29年度より協議体の取り組みを後方支援いただいた講師、地域コーディネーター・まーる 翁川氏を4年ぶりにお迎えし、超高齢社会と言われる時代に、「支え合い助け合いのある地域づくり」として「私たちができることはなにか」をテーマにお話をいただきました。

後半、7団体より活動の取組み内容の発表がありました。また、グループワークでは、地域を超えた交流を図り、目指す地域像のあり方について、活発な意見交換が行われました。

今後の住民主体活動について、「生活支援コーディネーターだけに任せるのではなく、協議体メンバーで地域への広がりを盛り上げていかなければいけない」等、岬町全域の活動方法について話し合いました。

## ～住民主体各団体活動報告～

### 赤提灯【多奈川地区福祉委員会】



### 深日地区「友さんの会」



### 淡輪10区・11区どないしたらええん会



### 淡輪6区「グリーンピース」



### 淡輪6区わくわく会



### 淡輪9区・2区「Qちゃん会」



### 多奈川港地区「まちの灯りー軒屋橋」



お問合せ

社会福祉法人 岬町社会福祉協議会  
〒599-0303大阪府泉南郡岬町深日3238-24  
TEL: 072(492)0633 / (492)5700 FAX: 072(492)5701  
Email: info@misakisakyjo.jp



# 岬町生活支援・介護予防サービス協議体通信

## 協議体からできたコミュニティカフェ紹介

令和5年1月1日  
第6号

名称  
Qちゃん喫茶  
(お寺カフェ)



主催団体  
淡輪Qちゃん会

実施日時：毎月第1水曜日 11:00～14:00  
(8月、1月休み)  
場 所：淡輪西林寺裏堂  
料 金：300円  
メニュー：おにぎり/みそ汁/バナナ/お菓子  
コーヒーのセット  
参加対象者：どなたでも



### ひとことPR

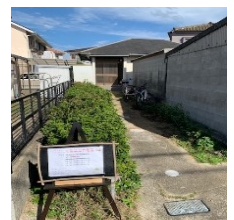
淡輪9区と2区協働で、多世代交流を目的に居場所づくり活動(淡輪Qちゃん会)を推進しています。建て替えられた西林寺の裏堂ホールを借用して、月に一度「Qちゃん喫茶」を開催しています。くつろぎと静寂の喫茶に、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

名称  
くつろぎ喫茶



主催団体  
グリーンピース

実施日時：毎月第3金曜日 13:00～15:00  
場 所：グリーントウン集会所  
料 金：200円  
メニュー：お茶/ジュース/お菓子のセット  
参加対象者：どなたでも



### ひとことPR

毎回おしゃべり会で盛り上がっていますが、これまで2回、近くの方のご協力による落語会などで大変楽しい時を過ごすことが出来ました。これからも色々工夫し、楽しい「地域の居場所づくり」をめざします。



名称  
純喫茶「向出なんぼく」



主催団体  
友さんの会

実施日時：毎月第3土曜日 10:00~12:00  
場 所：向出老人憩いの家  
料 金：100円  
メニュー：コーヒー/紅茶/お菓子  
参加対象者：どなたでも



ひとことPR

コロナが終息されない為、高齢の方は、なかなか外出しにくい。自宅から近いところに、憩いのサロンがあれば、ちょっと行ってみようかという気になってもらえるよう開催してみました。

名称  
純喫茶「友」



主催団体  
友さんの会

実施日時：毎月第4金曜日 10:00~12:00  
場 所：深日会館  
料 金：100円  
メニュー：コーヒー/お菓子  
参加対象者：どなたでも



ひとことPR

「友さんの会」主催の新たな居場所の創設として、純喫茶「友」をコロナ感染の第7波が終息した令和4年9月から再開すると、待ち望んでた方や定期的実施してほしいとの意見が多く寄せられました。ほぼ定着し新しい参加者も、増加しております。

お問合せ

社会福祉法人 岬町社会福祉協議会  
〒599-0303大阪府泉南郡岬町深日3238-24  
TEL:072(492)0633 / (492)5700 FAX:072(492)5701 Email:info@misakisyakyo.jp